

石風呂の復活にかける



NPO 今治センター
理事長

阿曾沼 温良

始まりはちょうど1年前でした

「桜井石風呂」の名前を久しぶりに目にしたのは、今治市の新年の広報でした。その

の名前には、「桜

」暖かい日差しの中

での花見、「風呂

」暖かい風呂、

など気持ちがほつと

するような温かさ

が感じられます。

広報の内容は、諸

事情でここ2年間

営業を中止してい

る「桜井石風呂」

の指定管理者を募

集する記事でした。

石風呂は毎年、

夏の7・8月に焚

桜井石風呂全景



かれ、瀬戸

内の夏の風

物詩と言っ

ても過言で

は無く、私

の子供のこ

ろにも海水

浴と合わせ

て親しんだ懐かしい場所でした。弘法大

師が里人のために開いたと言われる石風

呂、時代を経て今まで湯治場として人々

の体や心を癒してきた石風呂です。

さっそく地域の活性化などに取り組む

ボランティア仲間にも声をかけました。「私

たちの手で桜井石風呂の伝統文化を守ろ

う」「私たちボランティアが守らなかつた

ら誰が守るのか」との意気込みで石風呂

復活計画書を作成、7人の有志が集まり

ました。こうして、私たちは運営委員会を

開き、桜井浜部落の近藤司郎総代に先達



点火

が守り伝えてきた伝統文化を教えていた
だきながら、皆様の協力の下、スタートを
切りました。

お化け屋敷からの出発でした

当初は石風呂入り口で車を降りると、
ごみは散乱し、ビニール袋は北風に舞い、
石風呂周辺も休憩所もゴーストタウン化
し、特に納涼台は、台風にもやられたの
が無残な姿で、かろうじて原型を残して
いるという状態。さらに、一番奥にある
大きな2階建ての建物は、「夏のお化け屋
敷」のセットに即採用可能なほどでした。
それでも、先達を守り伝えてきた桜井石
風呂の伝統文化を、復活させたかったの
です。

まず私たちは地元桜井地区の皆さまに、
私たち「NPO 今治センター」が行う石
風呂の管理、運営、メンバーなどの説明
会、そしてフォーラムを行い、更に、個別
に知人や友人を頼って地元への協力をお
願いしました。結果、沖浦石風呂地区の皆
様に物心両面でのご指導、ご協力いただけ
るまでになり、大変心強い思いでした。何
も分からない私たちでしたが、総代から
熱心な指導を頂き、さらに7人もの協力
者も得て、こつこつとシタ刈りをスター
トさせ、建物や周辺環境整備へと夏場

の復活にむけて地道な努力をしていきました。

運営開始にあたっては不安もあり、オープン前のプレイベントで石風呂を焚き、常連客から情報収集をし、アンケートを行って本番に備えました。営業当初は常連客さんたちと運営に対して意識の違いも多少ありましたが、復活を喜んでくださるお客様の声、常連客さんたちの笑顔が嬉しかったです。

弘法大師が造ったと言われる石風呂なのです

ここで、桜井石風呂の魅力をひとつ…

桜井石風呂の魅力は静かな海岸の景観と石風呂の調和がすばらしいこと。燧灘ひうちなだには白波のまにまに島々が見え隠れし、右手（東南）には四国最高峰の石鎚連山が見え、絶景です。左右と後ろは小山に囲まれており、海岸線に防波堤が無いため道路横は即砂浜で、道路から直接海まで入っていく事が出来ます。自然が残り、俗世間から隔離された非日常空間を演出しています。

また、岩山に掘り込んだ岩窟式石風呂は、弘法大師が造り、病に苦しむ里人を救ったと言われ、日本の石風呂のなかで最も大きく、一番熱く一番衛生的で、一番古式な伝統を継承している最古の石風呂



石風呂前

なのです。

岩窟内はシダを1日2回焚きます

さらに、入浴法と入浴効果を…

岩窟内はシダを1日2回焚き、座席にするムシロは、海水で洗って石風呂内に敷くと、100度以上の高温で消毒されます。時々高温に成り過ぎて、ムシロが焼けて穴が空くこともあります。

入浴方法は、時間と好みの温度によって服装（仕度）が色々と変わりますが、基本的には、Tシャツ・短パンか水着にバスタオルです。

私は、夕方か翌朝一番焚き前の石風呂

に入るのが最高に気持ちがいいのですが、常連の高温好きは、二番焚きの一番風呂が良いそうです。入浴者自身が好みの時間を選択して入浴し、すぐ横の海で体を冷やし再度入浴を楽しみ、最後に潮湯や湯に入ります。

入浴効果としては、神経痛・アトピー・現代病の予防や美容など、いろいろとありますが、特に石風呂に入ると冬は風邪をひきにくく、ひいても軽くすむようです。また、喘息・冷房病・ムチ打ち・腰痛が治ったなど、色々な話を聞きます。

一人ひとりの力が復活を成し遂げたと思っています

最後に、復活後の感想とお礼を申し上げます。

復活を喜んでくださったお客様の笑顔と、「また来年もよろしく願います」の言葉が嬉しく、大変感動しました。地元の方々や運営委員及びボランティアさんたち一人ひとりの力が、桜井石風呂復活を成し遂げたと思っています。多々、至らないところもあったと思いますが、ご協力くださってありがとうございます。

癒しの里「桜井石風呂」を目指して今年もがんばります。